



講演題目

「日本における教育評価について」

講師：田中耕治

京都大学大学院教育学研究科 教育科学専攻 教授
教育実践コラボレーション・センター長
日本教育学会常任理事
日本教育方法学会理事

著書

教育目標・評価学会代表学力評価論の課題と展望(1995)：梅原利夫編著『カリキュラムをつくりかえる』国土社

学力評価論入門(1996)：法政出版

戦後教育評価論の位相と展開(1998) : 日本教育方法学会編『新しい学校・学級づくりと授業改革』明治図書

教育評価の理論と課題(1998) : 天野正輝編著『現代教育実践の探究』晃洋書房

学力評価論の新たな地平(1999) : 三学出版

戦後初期「経験主義」批判のなかのデューイ(1999) : 杉浦宏編『日本の戦後教育とデューイ』世界思想社

今 : なぜ総合学習なのか(第1章) 教育評価を考える(第2章)(1999) : 田中耕治・西岡加名恵『総合学習とポートフォリオ評価法』日本標準

「総合学習」の今日的課題とは何か(1999) : 田中耕治編著『「総合学習」の可能性を問う』ミネルヴァ書房

個を生かす評価の視点(2000) : ぎょうせい

教育課程の経営と評価(2001) : 学文社

指導要録の改訂と学力問題(2002) : 三学出版

教育評価の未来を拓く(編著)(2003) : ミネルヴァ書房

学力と評価の”今”を読みとく(2004) : 日本標準

New Trend of Theory in Academic Achievement and Assessment(2004) : Japanese Standard

研究紹介

教育方法学の立場から「学力と評価の問題」を探究している。そのアプローチとして、おもに三つの方向で研究を展開している。第一は「アメリカにおけるカリキュラム評価研究」、第二は「日本における学力評価研究」、第三は「評価を生かす授業設計と検証」である。「教育評価」に注目するのは、「教え」と「学び」の接点に働く「羅針盤」であり、「教育的認識論」を深化させる方法論であると考えからである。

教育実践コラボレーション・センター

〒606-8501

京都市左京区吉田本町

京都大学大学院教育学研究科内

TEL & FAX : 075-753-3075

E-mail : collabo@educ.kyoto-u.ac.jp

研究方法セミナー（案）

「自律訓練法を学ぶ

－教育、スポーツ領域における適用と実践的課題－

講師：松岡洋一

岡山大学 学校教育実践学専攻学校教育臨床連合講座 教授

岡山大学 学生支援センター長

博士(人間科学)

日本自律訓練学会(理事)自律訓練法指導士・専門指導医

日本交流分析学会会員(理事)認定スーパーバイザー、交流分析士

日本ロールレタリング学会会員(理事)

日本心身医学会会員(代議員)

日本心療内科学会会員(評議員)

著書：

ロールレタリング(現在のエスプリ) (編著) (2007) 至文堂

ちゃんと育てればストレスに強くなる(共著) (2003) : 日本評論社

自律訓練法の集団への適用とその効果に関する臨床心理学的研究 (2000) : 風間書房

自律訓練法(共著)(1999) : 日本評論社

心が痛い子どもたち(共著)(1996) : 日本評論社